



農大二中進路通信

令和5年4月13日(木)
進路指導部

入学おめでとうございます！

桜の花びらが舞い、花壇に色とりどりの花が咲き競う4月9日(日)、令和5年度農大二高中等部入学式が行われました。第一期生95名が緊張、不安を抱えながらも、希望に燃え入学してきました。最高に楽しい充実した時間が過ごせるように教職員一同、心から願っていますので一緒に成長しながら頑張っていきましょう。今週は自己紹介、オリエンテーション、健康診断などが多く、授業が始まることはありませんが来週からいよいよ授業が本格的にスタートしますのでまずは学校生活に慣れ、友達を作り、そして、体調管理をしっかりしていきましょう。

規則的な生活と学習時間の確保

「中学生になってから勉強がわからなくなった…」「授業のペースが早くてついていけない…」
「部活と勉強の両立ができない…」とこれらは四月から五月に中1生が直面する問題です。いきなりすべてをきちっとできるわけではないのでまず、四月にやらなければならないことを2つ書いておきます。

①まずは中学生生活に慣れる

中学生になると、小学生の生活とはガラリと変わります。学校の行事や学習の進め方、課題の量の増加、科目数の多い定期テストがあり、戸惑うことが少なくありません。しかし、それはこれを読んでいるあなただけでなく全員が感じることです。したがって、後々しっかりと学習に取り組めるようになるには、まず、最初の数週間は中学生の生活に慣れることが大切です。生活リズムをつくることから始めましょう。決まった時間に寝て、決まった時間に起きる。特に睡眠時間をしっかりとることが大切です。寝すぎには注意ですけどね。

②学習時間の確保

そんな新しく忙しいストレスフルな生活の中でも、毎日 30 分でも勉強する習慣を身につけましょう。後には二時間くらいの学習時間を常に確保してもらうことになりますが、最初から飛ばして体調を崩してしまったりはもともともありません。どの時間帯に勉強することが自分にとって効果的なのか、いろいろ試しながらも毎日継続して学習の習慣をつけたいものです。授業が始まると課題が一気に出てきて課題をこなすだけでいっぱいになってしまう生徒もいるかもしれませんが、うまく処理していきましょう。そして、時にはできないこと、忘れてしまうこともあるでしょう。でもそんな時にはしっかりと、「すみません、忘れました…」とちゃんと先生に謝ることが大切です。そして、課題をやり遂げて提出することが大切です。あまりにも真面目すぎると宿題を出せない自分に嫌気がさし、怒られる怖さから学校を休んでしまいます。元気に学校に来てくれることがこちらの願いですよ。

農二中の授業進度は速い！そして、テストは

ムズイ！だから日々の学習がカギ

まず、1年生に知っておいてほしいことがあります。それは、農大二中の授業進度は地元の公立中学よりもかなり速く、課題も多い、そして、テストもムズイということです。たとえば、英語、数学の進度を例にとってみると、通常の中学三年までに終える内容を中2までに行い、中3では高校の勉強に入ります。そして、そのまま学習は進み、高3では早期受験対策に入ります。

e.g. 数学の場合

通常の6年間		農大二中の6年間
高3	→	高3 (受験対策)
高2		高2 (体系5)
高1		高1 (体系4)
中3		中3 (体系3)
中2		中2 (体系2)
中1		中1 (体系1)

e.g. 英語の場合

通常の6年間		農大二中の6年間
高3	→	高3 (受験対策)
高2		高2 (発展)
高1		高1 (高2)
中3		中3 (高1)
中2		中2 (中2、3)
中1		中1 (中1、2)

これは単に授業の教えるスピードが速いからといえばそうではなく、単位数の違いもあります。例えば公立中学校標準単位数からいえば、英語は週4回が通常ですが、農大二中では6回あります。他の主要教科についても同様です。当然授業数が増えれば増えるほど、進むペースは速くなるわけです。さらに中高一貫コースは高校受験がなく、本来であるならば受験のための演習の時間をとる中3の時期もどんどん先に進めます。したがって、そのペースについていけず学習する内容をあやふやなままにしてしまうと雪だるま式でどんどん苦手が増えていき、あっという間に何もわからなくなってしまう。そうならないように、みんながどこでつまづいているかを見極めながら follow-up Time を含め十分なサポートしていきますが、前提として、各自が家庭学習を日々しっかりと行うことが大事です。したがって、中1の出来るだけ早い時期に“自主的な勉強のやり方”を身につけて、基本を取りこぼさず、学習を継続して行っていきましょう。

そして、定期テストは小学校に比べて断然難しくなります。小学校のテストでは90点~100点をとってきた優秀なみなさんの平均点が見たこともない低い点数になる可能性があります。しかし、これは農大二中の教員が6年後の目標(難関大学への進学)から逆算したレベルの作問をするからであって、君たちをいじめようとしているのではありません(汗)。したがって、量は多く、難易度も高くなります。そして、定期テストでは校内順位は出さず、到達度を重視します。現実的には無理かもしれませんが、校内の順位がたとえ95人中95位でも東大に受かる学力があれば順位はあまり関係ないと思いませんか？逆もあります。95人中1位でも県内の国公立大学にも受からない学力だったらなんのための校内順位ですか？農大二中は全国の難関大学、または海外の難関大学を目指しますので、中学生のうちから全国の猛者と戦える学力をしっかりとつける必要があります。校内の順位より模試の全国偏差値や学力の到達度を重視し、その到達のために、多少課題の量も多くなると思いますし、学習に対する一定のプレッシャーも与えるかもしれませんが、こちらも六年間でしっかりと力をつけ、生徒一人一人の自己実現をしたいという思いからの取り組みなのでご理解を！大変だけど頑張ろう！